

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月31日

上場取引所 JQ

上場会社名 岩塚製菓株式会社
 コード番号 2221 URL <http://www.iwatsukaseika.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎 春夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 郷 芳夫
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

TEL 0258-92-4111

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	9,910	—	△369	—	238	—	821	—
20年3月期第2四半期	9,563	0.3	△127	—	42	△81.5	△24	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	145.98	—
20年3月期第2四半期	△4.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	%	
21年3月期第2四半期	36,072	—	21,933	—	60.7	3,892.30	—	
20年3月期	37,870	—	21,825	—	57.5	3,872.56	—	

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 21,900百万円 20年3月期 21,789百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	13.00	13.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	21,000	3.2	50	57.7	630	178.1	1,050	—	186.61	

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 5,995,000株 20年3月期 5,995,000株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 368,389株 20年3月期 368,329株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 5,626,611株 20年3月期第2四半期 5,626,779株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 通期の業績予想につきましては、平成20年5月21日に発表いたしました予想から修正しております。詳細につきましては3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」及び平成20年10月14日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、9月に入り原油価格の高騰は収縮の過程に入ったものの、依然として石油製品や食料品の価格上昇が続き、また、米金融機関の破綻などを背景にした金融市場の混乱に伴い、国内景気の減速感が一層強まってまいりました。

米菓業界におきましては、素材に安心感のある米を主原料とした米菓が、食品への不信から安全志向へ推移している消費者の需要を捉え、その市場規模を拡大させることとなりました。その一方で、原資材料の高騰が影響しメーカー間の販売価格競争をより熾烈なものにし、厳しい経営環境が続いております。更に、業者による汚染米（事故米）の不正流通問題が発覚し、製造者として食の安全に対する取り組みと強化の重要性がより一層求められるようになりました。

このような環境の下、当社グループでは中期経営計画に基づく米文化フォーラム構想を発表し、「米」の新たな可能性を探るとともに、米を原料とする菓子を通じた食育と次世代とのコミュニケーション作りに着手いたしました。

また、原価対策につきましても、I P S（岩塚プロダクションシステム）の全社展開を進め、より一層の原価低減に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間におきましては、売上高は99億10百万円（前年同四半期比3.6%増）となりました。

利益面につきましては、原油価格高騰に伴う燃料コストや包装材料の増加、及び主原料・副材料の高騰に対して、製品価格の改善が追いつかず、営業損失は3億69百万円（前年同期は1億27百万円の営業損失）、経常利益は2億38百万円（前年同四半期比466.3%増）、四半期純利益は8億21百万円（前年同期は24百万円の間接純損失）となりました。

なお、前年同四半期比は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産は36,072百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,797百万円の減少となりました。

流動資産は3,955百万円となり、前連結会計年度末と比較して601百万円の減少となりました。これは主に、売上債権が減少したこと等によるものであります。固定資産は32,116百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,196百万円の減少となりました。これは主に、投資有価証券が時価評価により減少したこと等によるものであります。

当第2四半期末における負債合計は、14,138百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,906百万円の減少となりました。

流動負債は、5,782百万円で前連結会計年度末と比較して1,279百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等が減少したこと等によるものであります。固定負債は8,356百万円となり前連結会計年度末と比較して626百万円の減少となりました。これは主に、長期借入金の返済及び投資有価証券の時価評価に伴い繰延税金負債が減少したこと等によるものであります。

純資産は、21,933百万円となり、前連結会計年度末と比較して108百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が748百万円増加し、その他有価証券評価差額金が638百万円減少したこと等によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は3億89百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億9百万円の減少となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は10億38百万円の支出となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益を14億25百万円計上した一方で投資有価証券売却益11億79百万円の計上及び法人税等の支払額17億10百万円を反映したこと等によるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は9億38百万円の収入となりました。主な要因は、投資有価証券の売却による収入12億17百万円等によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は2億1百万円の使用となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出額2億76百万円を反映したものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しにつきましては、金融不安、世界景気の後退、株価の下落など、我が国経済の後退が明らかとなるなか、個人消費の冷え込みが予想され厳しい経営環境が続くものと考えられます。当社グループにおきましては、製品価格の改善及び生産ラインの改善などによりコスト削減に努めてまいります。

このような状況を踏まえ、通期の業績予想を以下のとおり修正いたしました。

詳細は、平成20年10月14日付「業績予想の修正等に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、平成20年5月21日の決算短信で発表いたしました通期の業績予想との差異は以下の通りです。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	21,500	450	1,050	1,030	183 06
今回発表予想 (B)	21,000	50	630	1,050	186 61
増減額 (B - A)	△500	△400	△420	20	—
増減率 (%)	△2.3	△88.9	△40.0	1.9	—
前期実績	20,351	31	226	△121	△21 58

(注) 上記業績予想数値につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げについては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これによる、損益に与える影響額はありません。

③リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

これによる、損益に与える影響額はありません。

なお、リース取引開始日が会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を適用しております。

④「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これによる、損益に与える影響額はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	394,595	704,001
受取手形及び売掛金	2,597,866	3,027,296
商品	3,048	2,358
製品	126,574	87,765
原材料	198,731	177,475
仕掛品	78,096	69,132
その他	577,163	520,194
貸倒引当金	△20,128	△30,559
流動資産合計	3,955,947	4,557,666
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,960,413	5,070,052
その他（純額）	2,592,372	2,565,199
有形固定資産合計	7,552,785	7,635,251
無形固定資産	53,379	52,331
投資その他の資産		
投資有価証券	24,306,455	25,414,666
その他	216,292	222,076
貸倒引当金	△12,382	△11,565
投資その他の資産合計	24,510,365	25,625,177
固定資産合計	32,116,531	33,312,761
資産合計	36,072,479	37,870,427
負債の部		
流動負債		
買掛金	506,145	610,228
短期借入金	2,850,000	2,700,000
未払法人税等	436,849	1,683,873
賞与引当金	436,463	407,472
その他	1,553,150	1,661,020
流動負債合計	5,782,608	7,062,594
固定負債		
長期借入金	292,000	568,000
退職給付引当金	865,004	869,184
役員退職慰労引当金	98,299	101,399
繰延税金負債	7,012,015	7,375,421
その他	88,840	68,543
固定負債合計	8,356,159	8,982,548
負債合計	14,138,768	16,045,142

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,634,750	1,634,750
資本剰余金	1,859,250	1,859,250
利益剰余金	5,777,789	5,029,559
自己株式	△616,009	△615,893
株主資本合計	8,655,780	7,907,665
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,221,010	13,859,748
為替換算調整勘定	23,679	22,217
評価・換算差額等合計	13,244,689	13,881,966
少数株主持分	33,240	35,652
純資産合計	21,933,710	21,825,285
負債純資産合計	36,072,479	37,870,427

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	9,910,550
売上原価	6,742,023
売上総利益	3,168,526
販売費及び一般管理費	3,538,218
営業損失(△)	△369,691
営業外収益	
受取利息	1,247
受取配当金	626,352
その他	25,485
営業外収益合計	653,086
営業外費用	
支払利息	25,788
持分法による投資損失	7,931
その他	11,363
営業外費用合計	45,083
経常利益	238,311
特別利益	
投資有価証券売却益	1,179,766
貸倒引当金戻入額	10,064
その他	244
特別利益合計	1,190,075
特別損失	
固定資産除却損	1,584
投資有価証券評価損	977
その他	48
特別損失合計	2,609
税金等調整前四半期純利益	1,425,776
法人税、住民税及び事業税	463,533
法人税等調整額	143,442
法人税等合計	606,975
少数株主損失(△)	△2,575
四半期純利益	821,376

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,425,776
減価償却費	375,333
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9,613
賞与引当金の増減額 (△は減少)	28,991
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,200
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△4,179
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△3,100
投資有価証券評価損益 (△は益)	977
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,179,766
受取利息及び受取配当金	△626,352
支払利息	25,788
持分法による投資損益 (△は益)	7,931
売上債権の増減額 (△は増加)	415,024
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△57,699
仕入債務の増減額 (△は減少)	△102,377
その他	△221,489
小計	71,044
利息及び配当金の受取額	626,351
利息の支払額	△25,763
法人税等の支払額	△1,710,557
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,038,924
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△272,742
有形固定資産の売却による収入	500
無形固定資産の取得による支出	△3,363
投資有価証券の取得による支出	△2,971
投資有価証券の売却による収入	1,217,543
投資活動によるキャッシュ・フロー	938,965
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	150,000
長期借入金の返済による支出	△276,000
配当金の支払額	△72,810
自己株式の取得による支出	△115
その他	△2,412
財務活動によるキャッシュ・フロー	△201,338
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,108
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△309,406
現金及び現金同等物の期首残高	699,001
現金及び現金同等物の四半期末残高	389,595

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

米菓事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表
中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額 (千円)	百分比 (%)
I 売上高		9,563,375 100.0
II 売上原価		6,341,958 66.3
売上総利益		3,221,417 33.7
III 販売費及び一般管理費		3,348,945 35.0
営業損失		△127,528 △1.3
IV 営業外収益		
1. 受取利息	760	
2. 受取配当金	167,479	
3. その他	30,611	198,851 2.0
V 営業外費用		
1. 支払利息	19,295	
2. 持分法による投資損失	3,017	
3. 為替差損	4,475	
4. その他	2,455	29,244 0.3
経常利益		42,079 0.4
VI 特別利益		
1. 償却債権取立益	93	
2. 退職給付終了益	31,409	
3. その他	2,998	34,501 0.4
VII 特別損失		
1. 固定資産除却損	31,191	
2. 投資有価証券評価損	8,848	
3. その他	1,602	41,642 0.4
税金等調整前中間純利益		34,937 0.4
法人税、住民税及び事業税	17,392	
法人税等調整額	45,553	62,946 0.7
少数株主損失		△3,542 △0.0
中間純損失		△24,465 △0.3